

緑化建設協会だより

発行所 社団法人 石川県造園緑化建設協会 総務広報委員会

発行責任者 立花 栄志

〒920-0370 金沢市上安原1丁目245番地2 TEL 076-269-1110 FAX 076-269-1279



写真提供:ランドスケープ開発
真脇遺跡公園 鳳珠郡能登町

緑と親しむ



アドプト制度で緑化の推進

協会顧問 石川県議会議員 藤井 義弘

県造園緑化協会の皆様方には日頃よりご指導・ご鞭撻を賜り、心よりお礼申し上げます。

今日の環境問題は、地球温暖化・生物多様性の維持等懸念が山積みされております。緑化を頂点として、自然と人と共生する社会の構築に県民・事業者・行政がそれぞれの役割を協働すべきではないでしょうか。

私は先の県議会に於いて、本県は観光立県であり、加賀・金沢・能登の空路・鉄道の拠点とそれらを結ぶ幹線道路の緑の修景整備と管理の現状は、決して立派とは言えないと思われまます。少なくとも幹線道路を「おもてなし道路」と位置付けて、緑豊かな観光立県石川として全国に誇れるものとするべきであるのではと尋ねたところ、今後の具体的な取り組みに対し、風情に溶け込む植樹帯の整備を行う方針を示し、特に県外からの人達が初めて入県を確認するI・Cに於いてシンボルとなる高木の植樹

を計画している様であり、現に今日シイの老木を安宅スマートI・Cに植樹する準備にかかっている様であり、来年には実現する予定です。

又、官民一体の活動を積極的に進めるべきとの提案に、沿道を花で彩る飾花活動を民間企業等の参加を積極的に募る必要があり、企業ボランティアの参加を従す方法として最小限の資材を提供し、企業等が無償で花壇の整備と維持管理を行う手法、これがアドプト制度と呼ぶ事を初めて知ったのですが、確かに必要な制度だと思われまます。今年度はまず空の玄関口である小松空港前をモデル地区として、民間企業による沿道飾花活動の試行を実施し、その効果や問題点を検証し、本格的な実施に上げるようです。これも加賀地区の協会が以前より提案されていた道路愛護活動の推進に向けた取り組みが一步前に出た感じが致します。

今や全県各地で企画されている養

子・里親と見たてた「アドプト制度」を通じて県民・事業所・行政が一体となり、我が郷土を美しく飾る事が私共、緑と向き合う者にとっての大きな使命があると思ひます。

今回の議会への提案も加賀地区協会の皆様の勉強会の課題の一つとして取り組んだものであり、常に熱心な勉強の結果であり、共に豊かな美しい街づくりにかかわっていきたいと思ひます。



事例報告 アドプト制度

—住民参加型の公共緑地の美化活動—

(有)栗山造園 栗山 伴芳

近年、アドプト制度を利用した、市民や企業のボランティアによる公共緑地の美化活動が盛んに行われています。

アドプト (ADOPT) とは英語で「〇〇を養子にする」の意味で、参加者は一定期間、公共空間を養子とみため、美化に努めるといふ制度です。

現在、県内各地でこの活動が取り組まれています。今回は野々市町の事例を紹介します。

野々市町では、住民グループや学校、地元企業等による十数団体がこの制度を利用し、街路や公園、遊歩道を対象に、除草、清掃を中心とした定期的な美化活動を行なっています。なかには草花を植栽し積極的に景観づくりを進めている団体もあり、参加者の意識の高さがうかがえます。町はこれによって維持管理費を低減できるほか(用具、花苗、保険費等費用の一部は町が負担している)、地域にとつてはコミュニティの育成につながり、また、参加企業にとつては、社会貢献を広くPRする機会となつていようです。

公共事業をめぐる変化の時代の中、今後も住民主体、あるいは住民目線による周辺環境の整備というものが

重要になってくると思いますが、アドプト制度は、参加者の地域に対する愛着やきずなを深めるとともに、住民の緑化や景観に対する意識を高める取組みとして期待できることから、今後、当協会としても積極的に参加協力していくことも大切ではないでしょうか。それによって、より品質の高い緑あふれる空間が実現されるとともに、地域との新たな信頼関係を築いていくこともできるのではないかと思ひます。





星稜泉野幼稚園

近年、小中学校や幼稚園、保育所のグラウンドの芝生化が注目されています。芝生化には数々の良い点が挙げられています。景観上の緑化推進や、現在問題のヒートアイランド、温度上昇の抑制。土と比べ8度も低い研究結果もあるそうです。そして子供たちにとっては足への負担も和らぎ、転倒した時

校庭緑化の目的

子供たちの安全性の向上
遊び場と自然学習の提供
地球・我々の環境のために

校庭緑化



(株)宮野勇吉商店 加藤 健一

今回は比較的順調な県内の幼稚園、保育所を見てきました。まず星稜泉野幼稚園です。こちらは日本サッカー協会が「チーム・マイナス6%」(環境省が中心となって推進している地球温暖化防止国民運動)の趣旨に賛同してグラウンドの芝生化を行っている事業により5年前に芝張りをされました。現在の芝生の生育は大変すばらしいです。管理は芝刈りを年間4~5回、

の安全性も向上し怪我が少なくなり、芝生でもおもしろい遊び場になります。水はけが良く、ぬかるみが少なくなります。また、自然環境の学習にも利用されています。近隣住民にとっては砂ぼこりの抑制にもなり喜ばれています。
しかし問題点もあります。まず管理です。そして踏圧により傷むため芝生を休ませる養生期間も必要であり、この間、子供たちの遊び場がなくなります。

施肥を2回。造園業者に依頼しています。水管理はスプリンクラーが設置されています。子供たちは日中は常に芝生に入っていますが、幼稚園ですの午後2時には帰宅しますし、夏休み等もあるので十分な養生になっっているのではないかと思います。
もう一箇所は加賀市の、かが幼稚園です。こちらはビクトールというロール状の芝が張られています。施工から使用出来るまでの養生期間が短くてよい品種だそうです。施工は造園業社ですが、その後の管理は校務士が行っています。芝刈り、施肥の回数は星稜幼稚園と同じ程度です。両園とも芝生

計画時から夏芝、冬芝の品種や、耐踏圧、耐乾性、耐陰性に優れたものを選択し、土壌改良やスプリンクラーの設置も検討したいと思います。そして完成後の管理を、学校、近隣住民、我々専門業者が協力して行っていく体制を確立しなければいけませんし、養生期間中の問題もクリアしなくてはなりません。全国の成功例も参考にして当協会としてもノウハウを蓄積し、行政にも働きかけ、校庭の芝生化を推進していきたいと思えます。

広場が日陰にならないのも良好な生育のポイントです。

加賀市 かが幼稚園 ビッグロール

日時：平成20年8月27日
芝種：ビクトール
面積：360㎡



園児施工前



ビッグロール 延転



施工後



施工後



9月4日撮影

東京先進地研修に 参加して

御木万葉造苑
田畑 智日

悪しと現在抱えている課題について
視察させて頂きました。

トリトンスクエアやミッドタウン
では、東京に行くとい私が勝手に思う
ことなのですが、「本当のGLは一体
どこだったのだろうか。」というも考え
てしまいます。特にミッドタウンの
庭園のすぐ隣は宅地の屋根が連なっ
ている状況ということから察しても、
差し詰め立体都市とも言いましょ
うか、そんなところばかりに目がいつ
てしまいます。話がそれましたが景
観はどれも計画段階から相当考えて
あるな、と思える樹木の配置や人の
導線、はたまたゾーニングに至るま
で東京のセンスを垣間見ることが出
来たと思います。



ミッドタウンのよく考えてあるなど
思われる配植

去る平成21年
11月26日から2
日間にわたり東
京の先進技術の
習得と、景観形
成の重要性を改
めて見つめなお
すという私なり
の今回の視察目
的としまして、
大規模屋上庭園
(晴海アイランド
トリトンスクエ
ア)や、東京ミッ
ドタウンへ、そ
して街路樹にお
ける景観の良し

街路樹の視察では、良い剪定と悪
い剪定の例や緑地管理の地下支柱な
どの問題を、講義して頂きながら
直接この目で見る事が出来たこと
は、我々の仕事においても今後の参
考になることは間違いないと思いま
すし、本当に大変貴重な時間を過ご
すことが出来ました。
千葉大学の藤井教授には半日間お
付き合い頂きまして本当に有難うご
ざいました。感謝申し上げます。



トリトンスクエア内緑の回廊



トリトンスクエアにて研修する協会員



オリンピック記念公園前街路樹風景



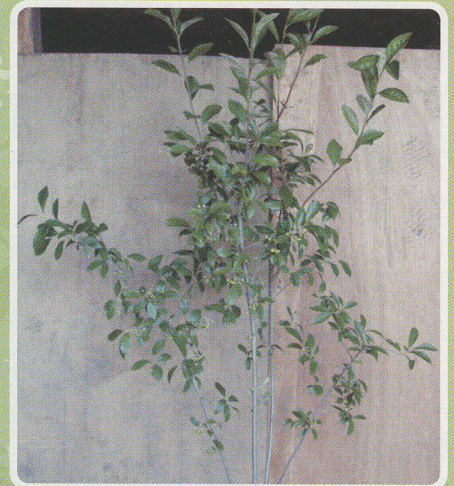
世田谷住宅市街地内の街路樹風景



ホルトノキ

常緑高木であるが、一年中、一部の古い葉でやや鋸歯が紅葉している。葉は倒卵形があり、ちょっとヤマモモに似ているが、より質が厚い。花期は7~8月頃。初夏に花が咲く。花は横に伸びた花茎に穂状に着き、個々の花は釣り鐘状で、白い。

アライギの ニュースタンダード ブレイク寸前 噂の樹木たち



ハイノキ

ハイノキ科ハイノキ属の常緑小高木。近畿地方以西、四国、九州に分布する。高さは4mほど。暖地の山地に生えることが多い。和名の由来は、木灰が媒染剤として利用されたことから。花期は5-6月。1cmほどの五深裂群生した小さな白い花をたくさん咲かせる。



アロニア

アロニア属(Aronia)は北アメリカ東部原産のバラ科の落葉低木で、果樹または観賞用樹木として利用される。日本にあるカマツカに似ているので、セイヨウカマツカという和名もある。耐寒性が高く、花はナンシに似て白または淡紅色で、春に散房花序に咲く。果実は秋に熟す。渋味が強く、食用には加工するのが普通である。他の果物のジュースと混ぜて飲料にしたり、ジャム、果実酒などにする。



ブルーベリー チャンドラー

耐暑性が高く乾燥に強いハイブッシュ系ブルーベリーです。ブルーベリーの中では最大粒品種といわれ、500円玉ほどもある巨大な実をつけることもある人気品種です。甘みは中程度で酸味も強く香りのある味です。晩生品種で、生育旺盛です。花期は、4月頃。実は7月頃楽しめます。1本でも結実しますが量は少なくなります。同じ系統の他の品種を近くに植えて一緒に栽培していただくとういに受粉してたくさん実がつけます。



常緑ヤマボウシ ホンコンエンシス“月光”

常緑ヤマボウシの中でも、花付きのよい品種です。開花期は6月ころからで満開時には全体が、その名の通り月の光のような白い花で覆われるほどになります。秋には食べられる赤い実を付けます。通常ヤマボウシと比べ甘いのが特徴です。耐寒性が強く冬期でも葉面に光沢があり、東北部まで植栽可能です。

金沢庭材株 上田 一治

社団法人 石川県造園緑化建設協会

造園緑化事業の健全なる発展及び県民の造園緑化に関する知識の普及啓発を図るとともに、県土の緑化保全及び快適な生活空間の創出に貢献し、もって県民福祉の増進に寄与することを目的とする

現在 取り組んでいる 事業について

- 都市公園のリニューアルについての調査・整備手法等の研究
- 街路樹の適正な整備と管理・育成・研究
- 抵抗性マツの調査・研究

詳しい活動内容はこちらのホームページでもご覧になれます。ぜひ、アクセスしてみてください。

<http://www.ishizokyo.net>

協会概要

名 称 本会は、社団法人石川県造園緑化建設協会と称する。

目 的 本会は、造園緑化事業の健全なる発展及び県民の造園緑化に関する知識の普及啓発を図るとともに、県土の緑化保全及び快適な生活空間の創出に貢献し、もって県民福祉の増進に寄与することを目的とする。

会 員 本会の目的に賛同して入会した個人及び法人。平成21年4月1日現在会員数は77社であり、詳細は会員ホームページをご覧ください。

規 程 石川県条例第22号

事 業 (1) 造園緑化行政に関する啓蒙
(2) 造園緑化行政に関する業務委託
(3) 造園緑化事業に関する調査、研究、情報、資料の収集、交換、提供
(4) 造園緑化事業の発展に資する情報の収集、普及啓発の開催
(5) 造園緑化に関する知識の普及啓発の開催、講習会の開催
(6) 緑化に関するその他の事業

施工事例
学校緑化事業
壁面緑化事業
…
など